

技術承継事業の第二弾

風技術センターを小会社化

マークテック

マークテック（西本圭吾社長）は、風技術センター（東京都墨田区）の全株式を取得、連結子会



西本社長

社化とした。風技術センターは、建築、土木、機械、環境、エネルギーなどに広く関わる風先案内人として、「一人に優しい快適な都市環境作りに貢献する」をモットーに、都市における風工学の諸課題の実験・評価に欠くことのできない風洞実験装置の設計・製作および実験模型の制作を通じて、住みやすい都市環境づくりに貢献すべく、事業活動に取り組んでいる製造

会社。

主に建築分野や機械分野に使用する風洞実験装置や、その実験用模型をユーザーの要望にあわせて作り込む製造サービスを得意としており、日本の高層建築物の歴史とともにメーカーとして実績を重ね、実験者・研究者の多様なニーズに応え、自然と調和する快適な都市環境づくりを支えている。マークテックは、一品質保証を通して社会に安全と安心を提供する」を企業理念として掲げ、非破壊検査事業、印字・マスキング事業に次ぐ第三の事業構想を描いていた。

西本社長は、「30年先を展望し、新たにM&Aを中心とした資本提携、業務提携、技術提携による品質保証に関連する技術力ある中小企業の受け皿」と技術承継事業を構築するというビジネスモデルに取り組んでいる」と話す。

技術承継事業の第一弾として一昨年8月、本田工業を子会社化。動風圧・断熱・風洞試験装置の設計・製造等技術承継を実現した。本田工業は、動風圧試験装置等の建材試験関連装置や風洞システムなど様々な試験装置の設計製作に関する独自の技術を持ちエンドユーザーから支持を得ている。

今回の風技術センターの

子会社化によって、同社が培ってきた技術力と人材をマークテックグループに取り込むばかりでなく、本田工業との種々のシナジー効果により、各種風洞実験装置、実験模型の制作販売における高い国内シェアを短期間で獲得。さらにグループとしても持続的な成長、企業価値の向上につながる判断し株式取得に至ったという。

同社は今年創立65周年を迎える。技術承継を通じて「風・環境試験事業」の柱となる新事業を展開、SDGs9「産業と技術革新の基盤をつくる」、SDGs12「持続可能な消費と生産パターンを確保する」という社会課題を解決する一助となるべく「品質保証を科学するモノづくり集団」を目指す。

産報出版株式会社 『検査機器ニューズ』

2020年4月20日（第1421号）掲載